

第32回国民文化祭 ・なら2017について

平成27年10月7日
奈良県地域振興部文化振興課

第32回国民文化祭・なら2017について

1 国民文化祭とは

「国民の文化活動への参加意欲に応えるとともに、国民の文化活動の水準を高めるため、昭和61年から国民一般が行っている各種の文化活動（民俗芸能、民謡、オーケストラ、合唱、吹奏楽、演劇、美術、文芸、映像及びお茶、お花などの生活文化等）を全国的規模で発表、競演、交流する場として毎年都道府県持ち回りで開催」

○平成27年1月28日 第32回国民文化祭開催地内定交付式

2 第32回国民文化祭奈良県実行委員会での決定事項とその概要

(1) 名称：第32回国民文化祭・なら2017

(2) 開催期間：平成29年9月1日～11月30日

〔毎年開催の奈良県大芸術祭や第17回全国障害者芸術・文化祭との同期間一体開催〕

(3) 主催者：文化庁、奈良県、第32回国民文化祭奈良県実行委員会

(4) シンボルマーク

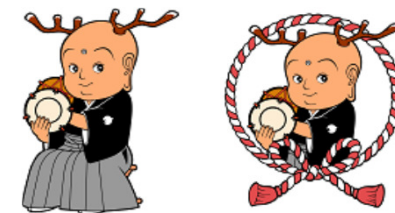
統一のシンボルマークとして第1回から使用しているマークを使用する



(5) マスコットキャラクター

開催を盛り上げるためのマスコットキャラクターを「国民文化祭せんとくん」とする

(6) 基本理念【別紙1】に基づき事業計画を策定



第32回国民文化祭・なら 2017 基本理念

○「大和は国のまほろば たたなづく青垣山こもれる やまとしうるはし」(古事記)と称えられた奈良は、日本文化を代表する様々な文物の発祥の地でもあります。同時に、古来の文化と渡来の文化が交流・融合を果たし、日本文化独自のダイナミズムが生み出された場所です。

○現在、日本各地で祭りや踊りなど地域に根ざした伝統行事があり、日常の稽古事や趣味を含め盛んに文化活動が行われているのは、こうしたダイナミズムの下で文化が育まれ、受け継がれてきたからにほかなりません。

○「第32回国民文化祭・なら 2017」は、国家形成の地である古都奈良から日本文化の真髄を探り、その厚みと深みを再認識するとともに、今に繋がる多種多様な文化活動を堪能、展開することにより、継続性と包容力を特色とする日本文化を広く発信する機会とします。

○奈良県は、国民文化祭の開催を、文化を奈良県のブランドとして全国に、そして2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、世界に力強く発信していく契機とします。古都奈良が日本文化の原点であったように、国民文化祭で生まれる新たな交流を触媒として日本各地の文化力を盛り上げ、我が国が目指す文化芸術立国の礎となることを目指します。

3つのキーワード

日本文化の源流を探る～日本文化の源流を国際的つながりも視野に掘り起こす

文化の今を楽しむ～積み重なった今ある日本文化の厚み、深みを堪能する

文化芸術立国の礎を築く～文化の交流で地域に元気をつくる

主催事業1. 総合フェスティバル (主催名義/文化庁・奈良県・実行委員会)

【1】 総合フェスティバル
「オープニング」
(通例では皇太子殿下の行啓)

【2】 総合フェスティバル
「フィナーレ」
(次開催地への引き継ぎ)

主催事業2. シンポジウム・国際交流事業 (主催名義/文化庁・奈良県・実行委員会)

【1】 シンポジウム事業
文化セミナー「フォーラム・NARA」
を発展させた事業展開
県が主体となるリーディングイベント

【2】 国際交流事業
東アジアなどとの連携事業
をベースにした事業展開
県が主体となるリーディングイベント

主催事業3. 分野別フェスティバル ジャンル/音楽(民謡・オーケストラ・合唱・吹奏楽・邦楽)・民俗芸能・演劇・文芸・美術・舞踊・生活文化 等

【1】 実行委員会事業
(主催名義/文化庁・奈良県・実行委員会)
実行委員会が主体的に企画し、
開催するイベント
県が主体となるリーディングイベント

【2】 市町村事業
(主催名義/文化庁・奈良県・実行委員会・
開催市町村)
さまざまな形で県内市町村と連携して
取り組むイベント
県が市町村と連携して取り組むイベント

※第17回全国障害者芸術・文化祭との連携開催

「奈良県大芸術祭」事業

- ・奈良県および国民文化祭奈良県実行委員会が主催する事業 (総合フェスティバル以外)
- ・県内で開催されるすべての協賛事業

↓

奈良県の文化力の向上と発信のため、国民文化祭のあとも、継続して取り組む。

【3】 文化庁独自の事業
(主催名義/文化庁)
文化庁メディア芸術祭
同芸術祭受賞作品の展示・講演
・ワークショップなどを開催

協賛事業1.(文化庁および実行委員会の承認事業)

【1】 全国の文化芸術団体が
主体となって奈良県内で
開催される事業
県が広報等の支援をするイベント

【2】 県内の文化団体、民間企業、
教育機関などが主体となって
開催される事業
県が広報等の支援をするイベント

協賛事業2.(文化庁のみの承認事業)

「国民文化祭なら大会」への
協賛事業だが、奈良県外で
開催される事業

第32回国民文化祭・なら2017開催までのスケジュール(案)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
奈良県	<ul style="list-style-type: none"> ● 県実行委員会設立(8月6日) ● 基本理念、事業計画の策定 ● 広報活動の開始 	<ul style="list-style-type: none"> ● プレイベントの開催 ● 国民文化祭開催に向けた準備調整 ● 広報活動の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 開催に向けた最終調整 ● 国民文化祭の開催
	<p>奈良県実行委員会</p> <p>基本理念・事業計画検討部会</p> <p>↓</p> <p>基本理念(案)の策定 事業計画(案)の作成</p> <p>・ 広報展開 マスコットキャラクターによる 広報開始(10月下旬より)</p>	<p>・ プレイベント開催(9~11月の奈良県 大芸術祭の時期を軸に展開)</p> <p>・ 本番開催に向けた準備・調整</p> <p>・ 広報展開 公式HP、マスコットキャラクターによる 広報、プレイベントに合わせた公式ポス ター、イメージソングの発表など</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">国民文化祭の開催</p> <p>2017.9.1 ~11.30</p>
市町村	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市町村、文化団体説明会 (11月開催予定) ・ 事業開催意向ヒヤリング、マッチング <p>第30回国民文化祭・かごしま2015 2015.10.31~11.15</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各市町村実行委員会の実施計画策定 ・ 各市町村実行委員会の事業準備、広報 展開開始 <p>第31回国民文化祭・あいち2016 2016.10.29~12.3</p>	